

# 自治協ニュース

第2805号  
発行者  
八本松小学校区  
住民自治協議会  
H28. 9. 20

## (仮称)「西条バイパス道の駅」基本計画 説明会開かる

### 地元住民から万全な安全・安心対策を

### 東広島市を元気にする道の駅 平成32年度完成目指して



9月11日東広島市は国土交通省中国地方整備局広島国道事務所と地域センターで本年1月に策定した「西条バイパス道の駅の基本計画」について八本松小学校区の住民の方を対象に説明会を行った。

説明によると、現在、県内の国道2号線の三原・廿日市間には休憩施設がなく、その適正配置が求められていること。東広島市の観光や特産物等の魅力の情報発信が求められて

いることが設置の主な理由。

そのため、国道2号西条バイパスに「基本三機能」を備えた道の駅の整備に本市独自の工夫を取り入れ「東広島市を元気にする道の駅」を目指し、地方創生の実現に資するのがねらい。総事業費は、市の試算で約20億円。国と市が負担し平成32年度を目途に施設を完成。運営は民間のアイデアの中から基本コンセプトに適合するものを選び民間に運営してもらおう計画。

この説明会に参加した約80名の住民の皆様は、「将来を見すえた先進的な道の駅」を要望する意見とともに、大容量の駐車場を持つ休憩施設

が地域に隣接することから「一般道での交通事故、近隣団地への騒音や排気ガス問題、夜間の照明や治安対策、ドライバーの不法投棄対策等」万全な安全・安心対策を求める多くの意見が出された。東広島市は「本日出された意見は今後の実施計画策定に反映し、地域の皆さんにも喜んでいただける施設を目指す。また、内容をまとまれば皆さんにお伝えする」として説明会を終了した。

### 道の駅基本三機能 (東広島市資料から)

休憩機能	道路利用者のための休憩機能
情報発信機能	道路利用者や地域住民のための情報発信機能
地域連携機能	市民や道の駅利用者が連携し活力ある地域づくりを行うための地域連携機能

### 基本コンセプト (東広島市スライド資料から)

本市への経済効果	雇用促進、市内産商品の販売、商品開発、市内企業による運営
観光客誘致	観光情報の提供、酒蔵通り等の観光地のPR、体験ツアー等の観光コンテンツ
子育てするなら東広島	子育て世代への定住情報、こどもが楽しめる施設、高校生・大学生等のインターンシップ
地域貢献	八本松、寺家地区の皆様の利用
農林水産業の振興	販路拡大・所得向上、地産地消・六次産業化、都市と農村の交流
防災	安全・安心の提供、広域的な災害に対する対応、復興のための窓口

### 道の駅 整備予定地 (東広島市資料から)



# 東広島市総合防災訓練 初めて 避難所と救護所の合同訓練を実施

## 八本松から23名がスタッフとして参加

### 避難所運営訓練



8月23日東広島市は広島国際大学で総合防災訓練を実施した。今年従来の一一般訓練とは別に、避難所と救護所の合同運営訓練が新たに追加された。このため、避難所訓練の経験のある八本松地域から23名がこの訓練に参加した。

八本松の参加者は今年6月の避難所運営訓練の経験から避難者の受付、名簿作成、要配慮者及び負傷者の支援・案内、食料の配布等を手際よく対応していた。

また、救護所の運営も市内の医療関係施設から約10名が参加。避難所運営チームと連携し問診、診療、処置、薬剤支給等を行った。この日一人で診療に当たっ

### 救護所体験訓練訓練



た東広島市医師会の方も突然の要請で戸惑ったが、かえって大変いい経験ができ自信ができたと言った。

なお、この日の避難者は負傷者31名、要配慮者22名、健康者20名の合計73名。

8月21日青少年育成部会は防犯部会と協同し「夜の青少年巡回指導」を行った。

この日は16名の方が夜9時地域センターに集合。5台の青パトに分散し、夜遅くまで遊び歩く子供たちがいないか校区内の公園や広場、大



**夜9時 校区内を見回り 「子どもたちだけの夜の歩きは止めましょう」 青少年育成部会**



型店舗等を重点的にパトロールした。最近では明るい公園も増え涼しさを求め夜間に遊具で遊ぶ子どもたちが増え、多くは保護者の方が同伴し安全が確保されてきている。しかし、年齢層の比較的高い子どもたちがグ



ループで夜遊びをする事例も認められている。

子どもたちがトラブルに巻き込まれないよう保護者の方にも「子どもたちだけでの夜の歩き」にご留意頂きたい。